

待ちました！スキーシーズン到来

今庄 365 スキー場安全祈願祭

12月23日のオープンを前に、今庄 365 スキー場で6日、安全祈願祭が行われました。増澤南越前町公共施設管理公社理事長をはじめ、西嶋町議会議長や仲倉県議会議員ら来賓、スキー場関係者らおよそ70人が出席し、シーズン中の安全を祈りました。

増澤理事長は「ここ3年、スキー客数は伸びている。関係者全員力を合わせて、今年は10万人を目指したい。」とあいさつ。今シーズンは、シニア1日券などのリフト券販売やお正月、バレンタインイベントなどがあり、千客万来が期待できそうです。



お元気でお正月を

ほのぼの苑もちつき大会

12月6日、増澤町長がほのぼの苑を訪れ、餅つきを行いました。

増澤町長は、「皆さんがお元気でお正月を迎えられること、元気で頑張られることを願っています」とあいさつし、杵を握って餅つき。

苑での季節行事を楽しみにしているという皆さんは、昔ながらの杵と臼での餅つきを、輪になって懐かしげに見守っていました。



安全で災害に強いまちに

消防ポンプ自動車(第9分団)を配置

河野地区の桜橋地域を管轄する南越前消防団第9分団に、消防団車庫兼詰所と消防ポンプ自動車が整備されました。

今後は、火災等の非常時の消火活動だけでなく、地震や風水害等大規模災害時の災害防ぎょ活動や、平常時における住民への防火指導、警備警戒、地域の巡回広報などの活動により、消防団を中心とした安全で災害に強い地域づくりが期待されます。



気分はパティシエ

今庄子ども教室でクリスマスケーキ作り

12月9日、今庄保健センターで今庄子ども教室(今庄あゆっ子育て会主催)が開かれ、小学生68人がクリスマスケーキ作りに挑戦しました。

講師の西山みちるさん(観音)からケーキの見本を見せてもらおうと、子どもたちはさっそくスポンジを作りはじめ、焼きあがると慣れない手つきで生クリームやフルーツなどでデコレーションしていきました。

世界に一つだけのオリジナルケーキに子どもたちは大満足。「クリームを塗るのは大変だったけどおもしろい。」と手づくりの楽しさを発見したようでした。



ご覧ください自慢の色つや形

自然薯まつり

11月23日、県自然薯まつりが南条特産会館(堂宮)で開かれました。品評会には、県内の生産者らが丹精込めた自慢の自然薯123点を出品。県自然薯生産組合連合会の岩崎義雄会長ら3人が、重さや形、表面の色つやなど8項目を審査し、知事賞を含めた11点が入賞しました。

また、自然薯入りそばや自然薯即売会のコーナーでは、「旬のもので栄養満点だから」と買い求めるお客で賑わいました。

■品評会 南越前町で入賞された方

県自然薯生産組合連合会長賞

村田 満さん(下新道) 山本 正さん(鋳物師)



よ〜みがえる日は なたそうそう

夏川りみコンサート 2006

南条文化会館の自主事業で今年最後のイベント「夏川りみコンサート2006」が、11月25日行われました。澄んだ歌声とやわらかい包容力をもつヴォーカルで、全17曲を歌い、アンコールでは2001年に大ヒットした「涙そうそう」を熱唱。来場者は、「生で聞く歌声は本当に素晴らしい。やさしくて温かい歌声にジーンときました」と感激していました。



新そばのお味はいかが

新そば収穫感謝祭

11月26日、新そば収穫感謝祭が今庄そば道場で開かれ、町内外から大勢の家族連れらが訪れました。

新そばは10月下旬に今庄で収穫。訪れた人たちは、「まずは新そばで手打ちされたおろしそばを食べから」と、威勢よくそばをすすり上げ舌鼓を打ち味わっていました。そば打ち体験では、参加者らがおいしいそばを作ろうと、こね方やのびし方、切り方などの指導を受けながらそば打ちを楽しみました。

そのほか、大根や白菜、里芋など新鮮な旬の野菜が入った山菜鍋が振舞われ、来場者を喜ばせていました。



太鼓で世代間交流

南越前町太鼓フェスティバル

12月3日、南条文化会館で南越前町太鼓フェスティバル(南越前町太鼓フェスティバル実行委員会主催)が開かれ、町内太鼓9チームが迫力ある和太鼓を演奏しました。太鼓フェスティバルは、南条龍神太鼓保存会と龍王夜叉太鼓保存会、漁火太鼓保存会が実行委員会を組織後継者育成とメンバーの交流を図ろうと企画。保育所の子もたちから一般まで約90人が参加しました。チームそれぞれの演奏のあと、参加者全員の合同演奏に、会場には豪快な音が響き渡り、観客から盛大な拍手が送られました。

